

第6回 健康講座

農業者が抱く放射線に対する不安を払拭するため、JAあぶくま石川及び除染情報プラザの協力を得て、農家を対象として健康講座を実施しました。

1 開催日時 平成27年3月17日(火)

2 開催場所 ホテル松多屋(石川郡石川町)

3 参加者 98名

4 講師 東京工業大学 放射線総合センター 助教 富田悟氏

5 講演テーマ

放射線の基礎

6 講演の内容

- ・放射性セシウムは、自然界に存在せず放射線を1回出すとバリウムに変化する。
- ・放射線とは、放射性物質が別の物質に変化するとき、その中から飛び出してくる粒や光のようなものである。
- ・現在、放射性セシウムは、「土の中にある粘土の粒子に捕まって、離れることができない。」、「水に溶けない。」、「土とくっついていると、植物の根っこがセシウムを吸えない。」状態となっている。
- ・田畑での作業において土に触れることによる皮膚の被ばく影響は、現在の方が居住できる地域では考えられない。
- ・現在の石川地方の空間線量率を測定したところ、東京都とほぼ同じ空間線量率であった。
- ・農作業で注意すべき点は以下のとおり。
 - ①作業中(外出時も含め)、土ボコリがひどくて気になるようであればマスクをしましょう。
 - ②作業後や外から帰ったときには手を洗いましょう。
 - ③放射線の危険性は低くなったので、普通に生活することの大切さに気づいて欲しい。
 - ④心配があるときは、行政や専門家に相談しましょう。
 - ⑤行政が行う被ばく管理サービスを利用しましょう。(WBCなど)



農作業における注意点について説明する講師